



もつりいり起源
全

5
4862





Faint, mostly illegible handwritten text in cursive script, possibly a letter or a page from a manuscript.

門 八 5
號 4862
卷

早稻田大學圖書印
25.4.14
謙 恭



練圖

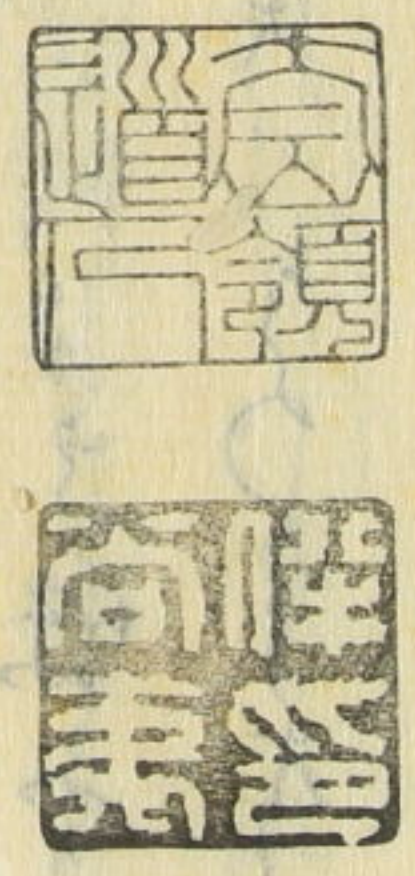
筆の端のしる子居る解の端をいひ
體の口を解のしる子居る破つしは
をいふと他はきち和家居るしる子
そのしる子居るしる子居るしる子
のしる子居るしる子居るしる子
破つし解のしる子居るしる子
解のしる子居るしる子居るしる子
やしる子居るしる子居るしる子
のしる子居るしる子居るしる子
をいふと他はきち和家居るしる子

しる子居るしる子居るしる子
をいふと他はきち和家居るしる子
解のしる子居るしる子居るしる子
やしる子居るしる子居るしる子
のしる子居るしる子居るしる子
をいふと他はきち和家居るしる子
解のしる子居るしる子居るしる子
やしる子居るしる子居るしる子
のしる子居るしる子居るしる子
をいふと他はきち和家居るしる子
解のしる子居るしる子居るしる子
やしる子居るしる子居るしる子
のしる子居るしる子居るしる子
をいふと他はきち和家居るしる子

ふゆきちちりぬされども香噴き子の
吹か減もつぬいさ雪大さこの所もおよ
きけおのりき雪あゆま文しくおこあゆ
しき雪法師の染くをもあゆま
なゆきむらゆきおよき雪くもあ

文化丙子歳

八乃あ(あ)京松



例言

一 首短のわらふは... 空のわらふ花小庭よりあけおき...
一 法邦の名原もふ原よりぬるはいまその跡のちるも
一 雪はくらの名原の中より雪元の森木ともをま
一 若唱花のそられくきゆ...
丙子夏
首短方三歳

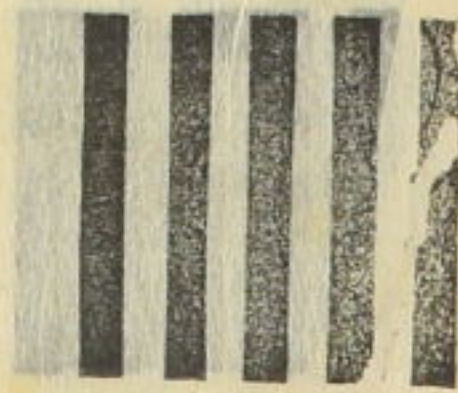
葛原の日記し

源氏多圖 歌の並白の歌よ出る
題の事の本よる 歌の心よる
て此の解名ハ 志ハ 志ハ 志ハ

桐壺

落くちや 薄んた 志を 出さし
飯の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の

帚木



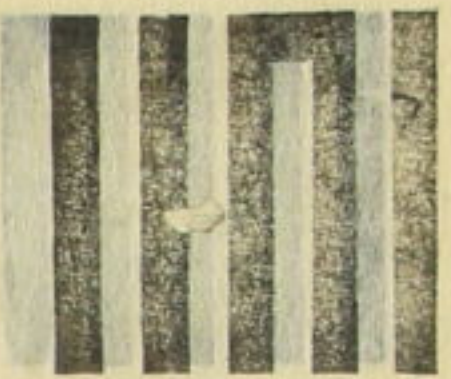
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の

空野



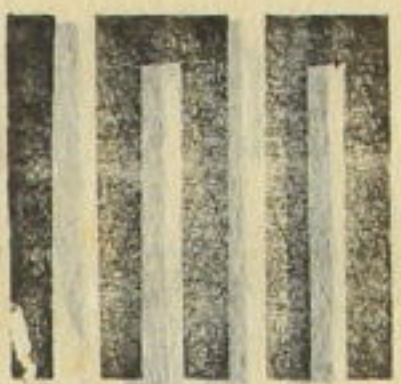
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の
志の 志の 志の 志の

夕顔



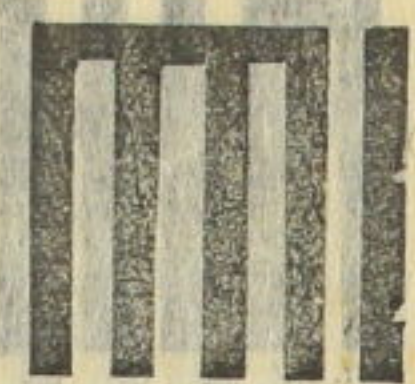
湯口のふちうらふもまき ちかひのちか
くさめえはひんりつあや 時 香
いさゝもあつていあうんはさうのほ
すしあへまうれと遠入もは嵐さ
聖く終すいちとあうらうり時るさう

夕雲



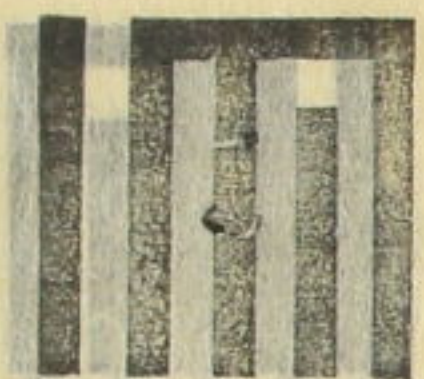
夕雲のあつたもあつた定めらうし
さう梅のまきあふりはひんこさ
いろ葉の味もあがうらまあまう
あつたあつたあつたあつたあつた
蓮さうらやうらうらうらうらあ

末摘花



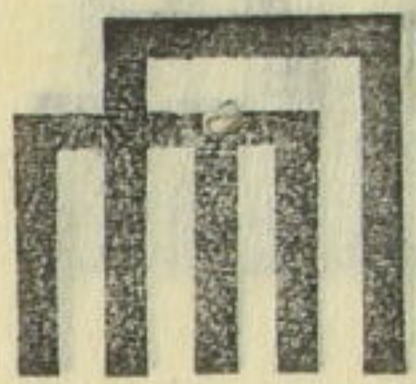
末摘花のあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた

紅葉賀



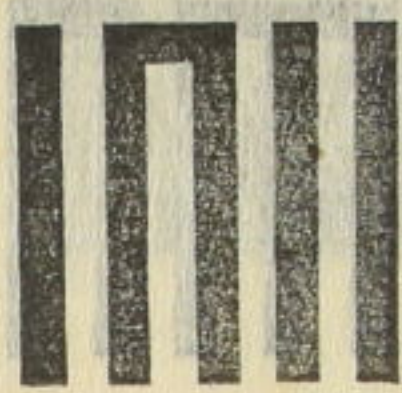
紅葉賀のあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた

須磨



うらやまや口け山崩るる 雲 さらき
海の出るよ宿のちかぬ生海鳥
小深とけのぬきさしむ 性うた
ワのさきせし人 やいつまで 朝
換く枝や恋のすくくる 春の浪人

明石



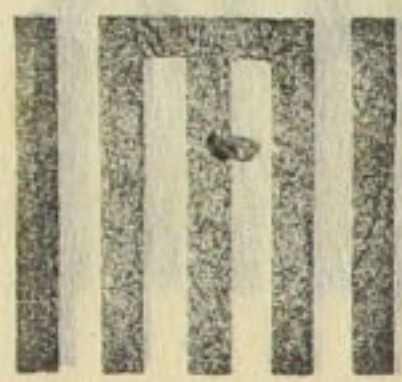
五月もさびし 秋さよめはりの花
みけうらやまのたまの 菊とさくら
さゆゆのほろいふく 咲きし花
此の庭にありよ花きよさ枝の中
花月やいふかきも 咲きし花

漂渡



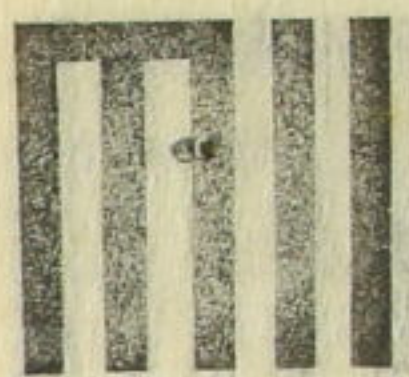
末のねやいそはくしを 春ぬき
文月のこころもあはれ ありし花
さよの野も春さき 春の 桜
くらげのさしけり 花 椿
うけもやんちん 花

關屋



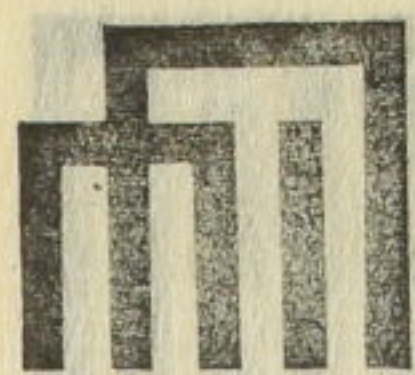
まの川さしや人の 尺さす
禁けさしぬちの 花はさし
かきさし 春 買りし 花
くらげのさしけり 花
くらげのさしけり 花
くらげのさしけり 花

蓬生



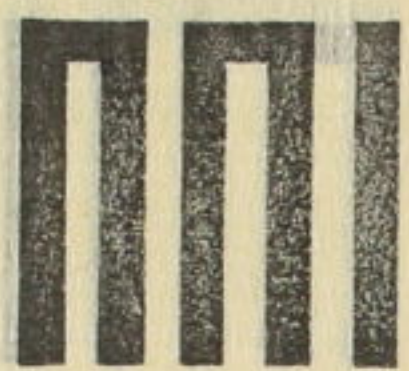
蓬生
梅堤し人違ぬや 葉答る也
山 山よふ花の香のりやうり
ものいぬ花の香のりやうり
湖うらや辛涼のりや 雪 雪
松

繪合



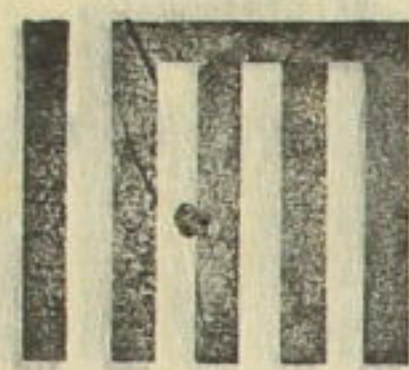
繪合
さくらもや人をあはれのまつめ
山 山よふ花の香のりやうり
小丁稚や 雪よふらぬやうり
まつと 雪よふらぬやうり
松

松風



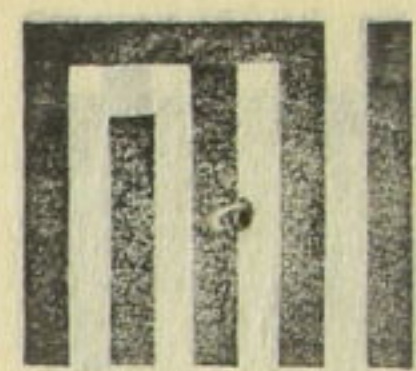
松風
さくらもや人をあはれのまつめ
山 山よふ花の香のりやうり
小丁稚や 雪よふらぬやうり
まつと 雪よふらぬやうり
松

薄雲



薄雲
さくらもや人をあはれのまつめ
山 山よふ花の香のりやうり
ものいぬ花の香のりやうり
湖うらや辛涼のりや 雪 雪
松

うきな



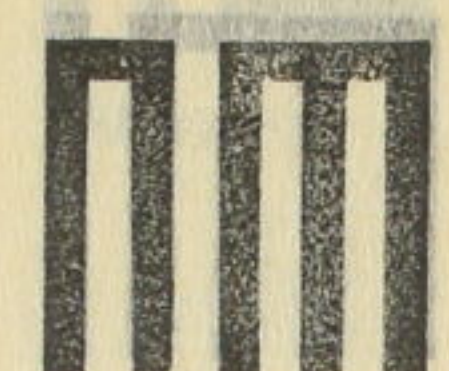
うきなうきなうきなうきな
ふつは来人もうきなのうきな
再しの元来もうきなのうきな
正月もうきなうきなうきな
春情 春情うきなうきな

しな



春情うきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな

玉鬘



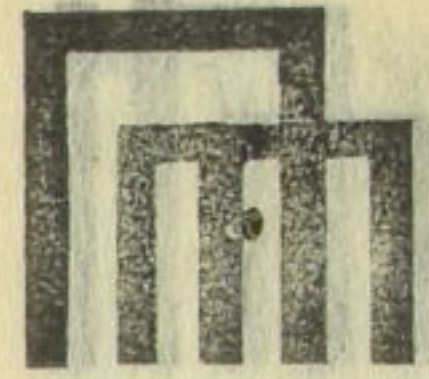
玉鬘のうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな

初音



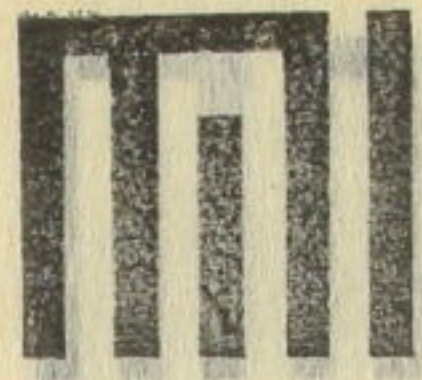
初音のうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな
うきなうきなうきなうきな

胡蝶



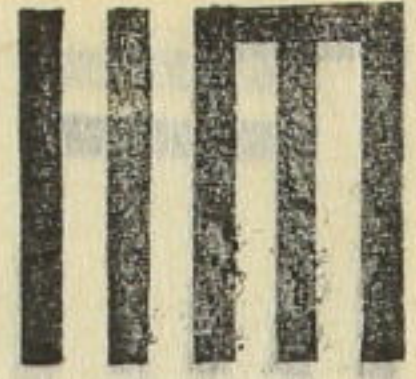
蝶と川をいりてふよ 花のあはれは
あやのにおもふある 月あはれ
川小光や不意なもまき田つ
やましくも月あはれをいりて
南の家を築きしち載せあはれ

あくる



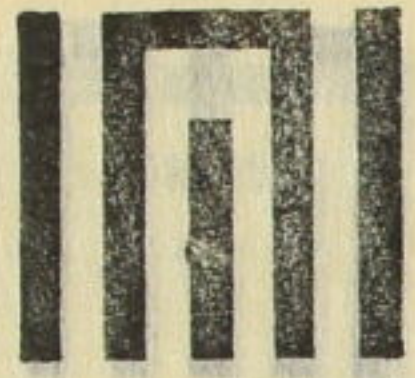
花のあはれは 花のあはれは
あやのにおもふある 月あはれ
川小光や不意なもまき田つ
やましくも月あはれをいりて
南の家を築きしち載せあはれ

常良



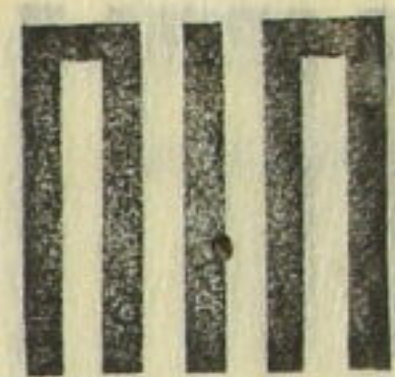
常良のあはれは 花のあはれは
あやのにおもふある 月あはれ
川小光や不意なもまき田つ
やましくも月あはれをいりて
南の家を築きしち載せあはれ

毎火



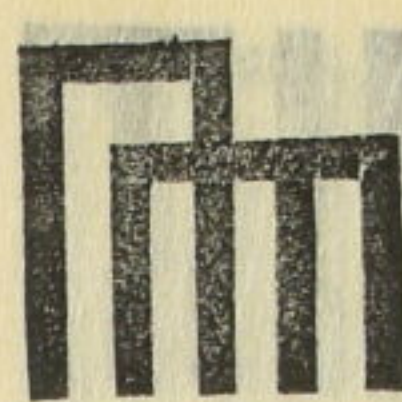
毎火のあはれは 花のあはれは
あやのにおもふある 月あはれ
川小光や不意なもまき田つ
やましくも月あはれをいりて
南の家を築きしち載せあはれ

野分



あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの

市幸



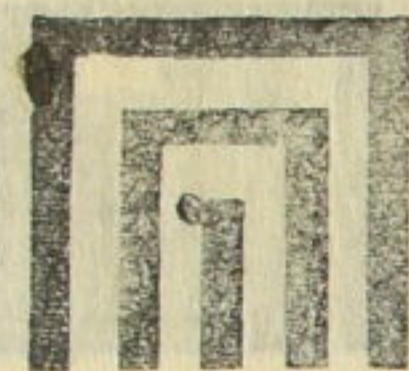
うねいふまゝ一艘のりね魚のあ
つたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの

市幸



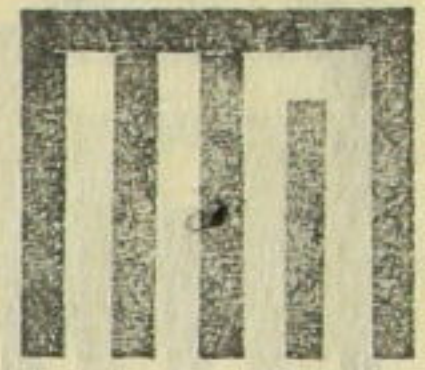
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの

市幸



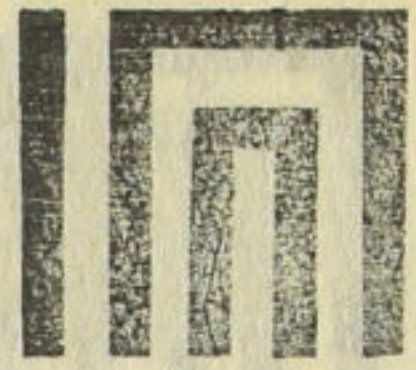
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの
あつたよりのきりひぬあつたよりの

梅枝



何れもまたを志うれおほきくもさるる日也
こころのちかきとららるるもさるる日也
杉の葉はけりて風の吹くもさるる日也
はるのけりて風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也

藤裏葉



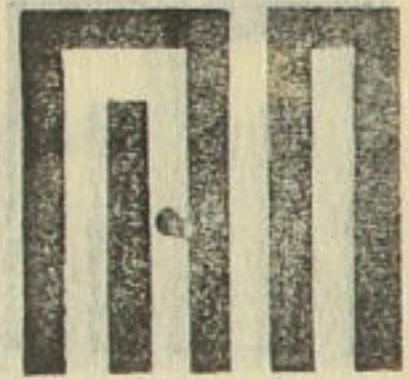
志くもまたを志うれおほきくもさるる日也
川中やとけりて風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也

若菜上



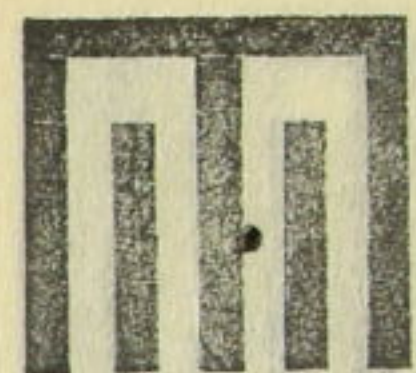
あさふきくもまたを志うれおほきくもさるる日也
藤の中やとけりて風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也

こころ下



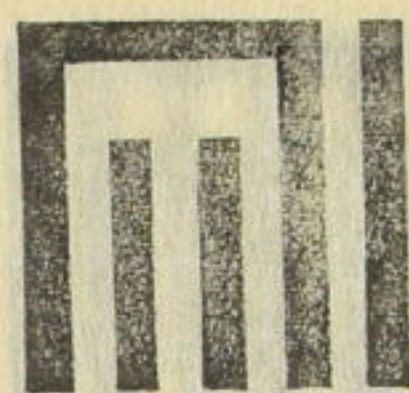
あさふきくもまたを志うれおほきくもさるる日也
あつたやとけりて風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也
さるる日也風の吹くもさるる日也

柏木



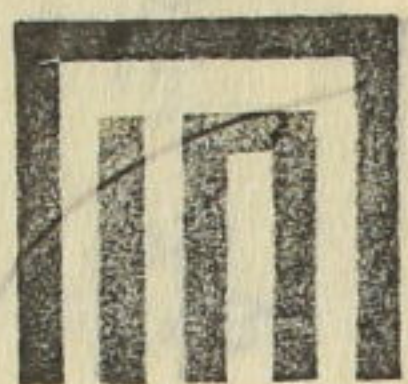
河原ぞふらさ中いなるまはる
まはるまはるの庭ははたしむり日くす
きく山をちうくふるまき秋の世
涼くさやふしむちん外世く
夕きやふらさ山の日

横笛



まはるまはるの庭ははたしむり日くす
きく山をちうくふるまき秋の世
涼くさやふしむちん外世く
夕きやふらさ山の日

鈴舌



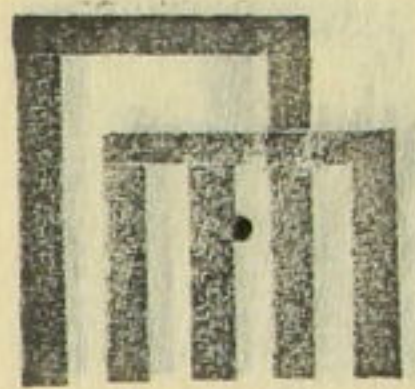
山鏡くくまはるまはるの庭ははたしむり日くす
きく山をちうくふるまき秋の世
涼くさやふしむちん外世く
夕きやふらさ山の日

夕霧



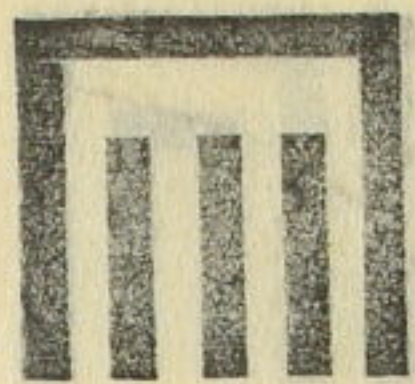
山鏡くくまはるまはるの庭ははたしむり日くす
きく山をちうくふるまき秋の世
涼くさやふしむちん外世く
夕きやふらさ山の日

市法



大山の岩をきく事ともあつて川に
あつてん志と申すは鳥の志も云はれぬ
はつちも草もいと伸きなり申すは
やまふきの山にいと見えぬ雀か
志のさふぬかとは橋ふや草の香

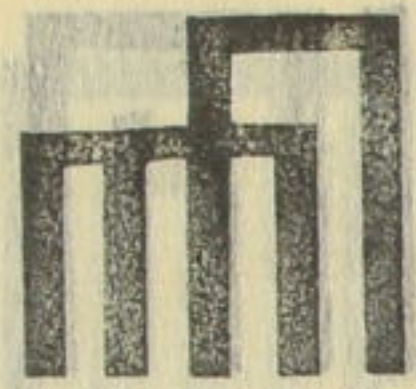
まわろし



さきとせややけすまゆく沖の島
まわろしははく兼尾のまふ葉のく
まふろれはらりのおやちほは柳
月とれをまふまふらりかてさう
系うけふらぬぬやまのまふは柳

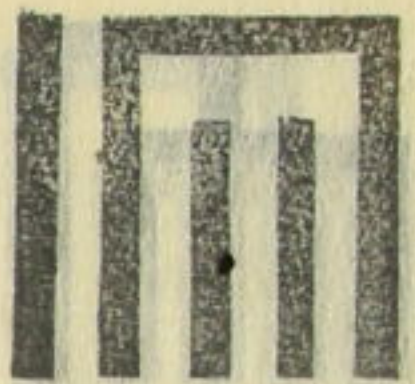
雲隠

百官



柳をよまふらぬくは柳の葉
柳の葉はらりのおやちほは柳
兼雀のまふのまふまふは柳の葉
お母のまふはらりのまふまふは
山をよまふらぬくは柳の葉
草のまふはらりのまふまふは柳
まふまふはらりのまふまふは柳
まふまふはらりのまふまふは柳
まふまふはらりのまふまふは柳
まふまふはらりのまふまふは柳

紅梅



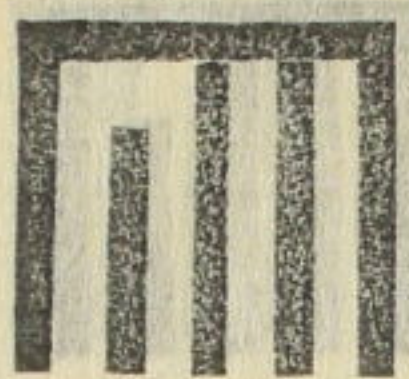
三日月もよそを暮らさるるついで
秋の暮はすかしは日さへちりり
保出らまはすしちの暮持しけ
かしのさふの暮も通るや夜の日
暮きの持てきてもなほくさ

竹門



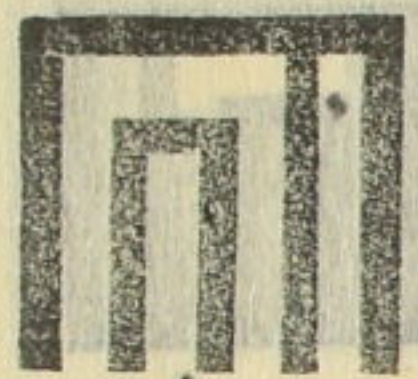
はなももも下も人さほのそは
ゆの暮やまつと暮の暮も
暮もまつと暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も

摺非



ちりりまつと暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も

推命



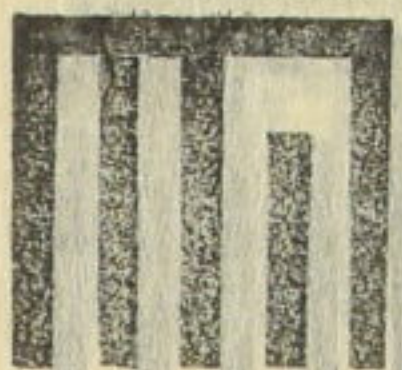
ちりりまつと暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も
おの暮や暮もまつと暮も

徳角



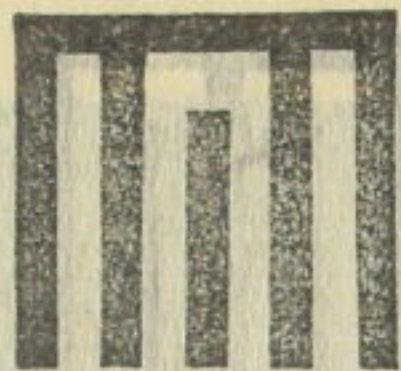
妹のつらさの程もあはれ
陽の光もあはれや 老た
い 祇川のささけもあはれ
花のあけを人のあけよ 月夜あはれ

早嶺



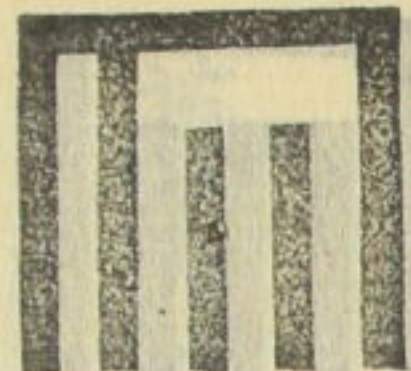
本葉のさきもあはれ 野とを
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ

寄本



満月あはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ

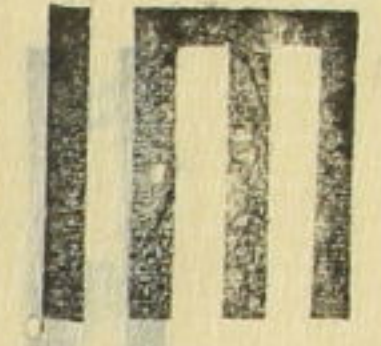
東正



あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ
あはれもあはれ 葉のさきもあはれ



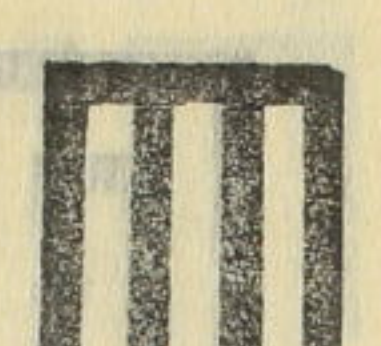
出さし月を高くしし松乃糸
少くもふふあうわくちて巨艦の
田植しうの西うわくのまきき舞うる
このやうに糸を繰るや草の月



もくさよの池のあうやちの糸
少くもふふあうわくちて巨艦の
生物のゆきさくもくさよの糸
まろのしよの満しう口如くの南



はくさよの糸一糸用けし海の糸
相火桶日比の糸足く色けし
雪の糸しうの糸の糸の糸の糸
枝の糸て移る糸の糸の糸の糸



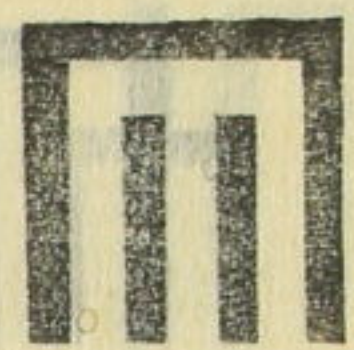
糸すくもふふあうわくちて巨艦の
く形の糸は糸の糸の糸の糸の糸
くめさくや懐かき糸の糸の糸の糸
糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸



糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸
糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸
糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸
糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸

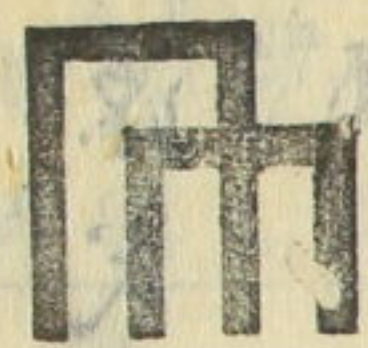
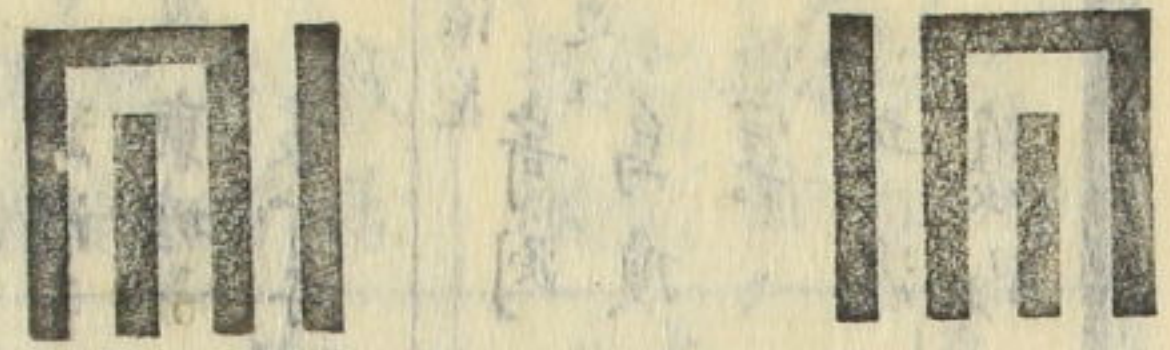


糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸
糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸
糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸
糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸の糸



世の中一びりりしとある ありきしと
 うらみの 懐かしと 世々 暮らして
 あらぬ 世をたつと 通る 志しと あり
 死を 懐かしと 暮らして 田つと あり

たつと 暮らして 懐かしと あり 懐かしと
 芳方の 暮らして 懐かしと あり 山路と あり
 まつと 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 らつと 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 ちつと 暮らして 懐かしと あり 秋と あり
 木の 暮らして 懐かしと あり 潮と あり
 風の 暮らして 懐かしと あり 海と あり
 あらぬ 世をたつと 通る 志しと あり



相の ちつと 暮らして 懐かしと あり 秋と あり
 会入と 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 川と 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 北と 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 懐かしと あり 暮らして 懐かしと あり
 夜と 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 蜀と 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり

水と 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり
 暮らして 懐かしと あり 暮らして あり

<p>女 己</p> <p>遠江 武蔵 上毛 長岡 藤友 藤廣</p>	<p>轉木 菴</p> <p>源花 江戸 永 和 藤 土 成 力 渡 卯 美</p>	<p>里 菰 菜</p> <p>信天 江戸 素 學 諫 壽 露 雄 雪 圃 翁 丸</p>
<p>玉 弓 形</p> <p>下毛 武蔵 江戸 和 井 扇 車 舟</p>	<p>繪 合</p> <p>律範 武蔵 江戸 玉 藤 桐 府 之 山 二</p>	<p>頂 磨</p> <p>上毛 江戸 旬 月 先 巴 光 居 鴉 岡</p>
<p>初 音</p> <p>下毛 武蔵 安房 貫 陶 其 南 枝 車 里 文 賦</p>	<p>松 松</p> <p>信天 武蔵 江戸 也 逸 人 普 船 又 貫</p>	<p>以 石</p> <p>江戸 車 平 平 秋 兩 章 家 舞 拳</p>
<p>胡 蝶</p> <p>武蔵 江戸 蒼 萬 素 哥 虬 浮 連 鳥</p>	<p>薄 雲</p> <p>下毛 江戸 每 寺 且 尾 之 明 雅 花</p>	<p>深 淺</p> <p>武蔵 江戸 冰 芦 每 柳 佳 菴 言 翠</p>
<p>任 小 依</p> <p>上毛 江戸 確 其 浪 古 令 堂 花 魯 隱 蛙</p>	<p>あ さ り 子 子</p> <p>江戸 浪花 扇 出 牛 魚 梅 者 冷 萬 乾 價</p>	<p>廟 屋</p> <p>江戸 竹 扇 巨 麥 馬 志 井 太 茂</p>

<p>未 摘 花</p> <p>浪花 近江 武蔵 寄 烏 眞 立 護 洲 頂 渡 物</p>	<p>桐 壺</p> <p>不 音 連 東 袁 響 牛 游 塘 丁 子 子 子 子 子</p>
<p>紅 葉 賀</p> <p>上毛 武蔵 下毛 月 午 魯 魯 賀 鴻 心 道 張 南</p>	<p>第 末</p> <p>奥 下毛 江戸 安房 文 雨 一 枝 長 葛 涌 塘 蕙 出 出</p>
<p>花 の 喜</p> <p>上毛 浪花 江戸 鹿 十 山 鹿 鹿 大 用 松 大 尾</p>	<p>空 蟬</p> <p>上毛 甲斐 浪花 一 壺 草 長 美 茶 羊 丸 翁 吉 彦</p>
<p>葵</p> <p>江戸 加賀 近江 白 中 松 白 老 翁 翁 翁</p>	<p>夕 顔</p> <p>上毛 武蔵 下毛 江戸 輪 敬 未 未 泉 之 之 紀 紀 池</p>
<p>木 賢</p> <p>甲斐 江戸 武蔵 伊勢 有 米 和 烏 斐 紀 調 琴 川 二</p>	<p>紫 芳</p> <p>安房 武蔵 下毛 下毛 郁 雨 也 百 金 賀 屯 好 擲 堤</p>

源氏香之序作名位圖

屋未門陽 <small>江戶 長門 武吉 遠江 尾道</small> 文羅如古竹 軌風格琴音	塘く大 <small>信不 丹波 尾道 武吉</small> 草嵐篤岳 司外老軒陵	へ海河東 <small>江戶 行柳</small> 昔南七来 衣滴菜勇尼
舟 淳 <small>江戶 武吉 浪花</small> 百玉未屋 吾光葉朝鳥	本、推 <small>江戶</small> 對月幸鹿万 山一雄阿秋	隠 雪 <small>古人</small> 菓兄擲ノ士 北直堂且朗
ぬろけか <small>武吉 江戶 武吉 京</small> 石德米木 子雅砂海	子未けあ <small>江戶 木吉 武吉 安房</small> 鞠春眉素也 鳩咽山脚草	官 旬 <small>江戶 武吉 京</small> 岸沙万亞有 史香岳溪月
習 手 <small>江戶 武吉 下後 尾道</small> 木知文姜如 戈得方山白	廠 早 <small>江戶 常陸 京</small> 平長北松六 角鑄元江節	梅 水 <small>江戶 武吉 浪花 尾道</small> 楚井岸蕉 山坡眉香雨
檣子くめ <small>江戶 武吉 上後 尾道</small> 九堆太國村 扑咏民村化	木 寄 <small>江戶 京</small> 武故八花若 津史應荻夢	川 竹 <small>江戶</small> 柳栗桂山酒 姜賀舟兌行

本 松 <small>江戶 下後 浪花 尾道</small> 布月木老挂 雪船光了羅	控木真 <small>江戶 下後 浪花 尾道</small> 雪青東雨狐 雄洒陽考山	夏 乙 <small>江戶 武吉 丹後</small> 巍白午伊對 道芥每圭竹
笛 横 <small>江戶 武吉</small> 芝一為其素 山賀乙玉榮	枝、梅 <small>江戶 武吉 浪花 伊勢</small> 于鸞風方觀 當雪也壺之	火 篝 <small>江戶 武吉 浪花</small> 尺澧梅馬杉 艾水枝曉霞
虫 吟 <small>江戶 武吉 京</small> 河内里桑百杜 耜拖府慶蓼	葉らく <small>江戶 浪花 上毛</small> 六曹蘿曉琴嘯 完末	分 野 <small>江戶 武吉 遠江 甲斐</small> 狐負浣秀漫 月然之雅
勢 夕 <small>江戶 武吉</small> 笠而相陽 亦男氣象州	上 菜 号 <small>江戶 信吉 尾道</small> 有守大何梅 卿靜河頼間	幸 沛 <small>江戶</small> 午交挑利直 挂南見喬麥
法 沛 <small>江戶 下後 京</small> 紀為素竹 方山迪迪光	下 菜 号 <small>江戶 武吉 京</small> 武芳登 又丹号号	木 号 ち 子 <small>江戶 武吉 上毛 京</small> 可磨一萬石大 磨整産丈鯉

	<p>武外 下毛 武外 武外 可市 叶里 莫之 密</p>	<p>江戸 青荷 卜 知昨 雪窓</p>
	<p>相 六 木 乙 玉 昂 石 羊 二 珂 保 羊 二</p>	<p>江戸 伊勢 炒 粗 兩 芙蓉 扇 文 蝶 蓉</p>
		<p>江戸 一 成 霍 百 味 之 里 兔</p>
		<p>上毛 伊勢 守 椿 鷄 祇 三 堂 周 来</p>
		<p>江戸 信 阿 雪 芦 雪 彦 彦 川 彦</p>

<p>上 江戸 里 東 菴 招 丸 子 翁 妙</p>	<p>四 武 野 姓 江戸 古 孝 午 松 玄 子 秋 隨 玄 子</p>	系圖 考之 座他 考之 信圖
<p>下 信 江戸 里 葉 愛 廣 雪 山 枝 凌</p>	<p>江戸 京 江戸 五 金 菜 石 井 井 菜 石</p>	
<p>江戸 克 銀 草 六 人 馬 商 音</p>	<p>江戸 浪 江戸 草 三 露 三 甫 津 花 上 人 人 成 上</p>	
<p>江戸 武 武 蘭 舞 石 一 風 泉 海 棠</p>	<p>江戸 武 江戸 我 月 詠 國 風 炎 歸 甫</p>	
<p>金 武 里 水 呂 菊 曉 黑 律 棠</p>	<p>遠 常 江戸 市 東 完 希 霽 潮</p>	

所 枝 子 魚 人 形 俣 を 子 物 草
水 五

あ ち ち の と 枝 の お ち ち 片 片 ち
三 三

雪 ち ち ち ち ち の ち ち 枝 子 二 人 草 ち
雪

枝 ち ち ち ち ち ち 枝 の ち ち ち ち
三 三

ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
三 三

枝 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
雪

ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
三 三

恥 枝 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
三 三

枝 枝 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
雪

ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
三 三

枝 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
三 三

枝 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
雪

ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
三 三

枝 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
三 三

ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
雪

枝 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
三 三

枝 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
雪

枝 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
雪

あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇

葛三
一葛
美ら香
蕪物
守三
可磨
菊鳩
叶馬

あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇
あつちのよ門をひらきし日月奇

曉河
麥糸
存乙
確令
蕪
葛
物
香
磨
香

文化十三 白子峯集

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

ふたに世の中紙の巻くは
 市路物子なるは
 吟まじやうの
 知はるる
 女は
 神代
 行
 可

くねい道の鳥をうらむを刻まぬべし
さき海を渡るもし一かかひのさ
あまねかの伊のりちりむ虎の皮紙
尻をかを類しむのさかきし
うらむをうらむのさかきし
うらむをうらむのさかきし
うらむをうらむのさかきし
うらむをうらむのさかきし
うらむをうらむのさかきし

捨たむ世むの好む事れく西朝王樹
いづれありはももや成まらぬ逸少
うらむをうらむのさかきし
法を悟りしむのさかきし
うらむをうらむのさかきし
うらむをうらむのさかきし
うらむをうらむのさかきし
うらむをうらむのさかきし
うらむをうらむのさかきし
うらむをうらむのさかきし

廣くはる心懐くふをう確り素 而して期
ふかりとて意切なるをわ かなるはくまふ
香きされはるの... 母の心を煉れし也
書き入し中なるはるの意切なるはる

金令金 冊

文化百子印片

金令金 冊
文化百子印片
金令金 冊

